

# ひょうごふるさとづくり交流会議

事務局：兵庫県企画部地域振興課

## ひょうごふるさとづくり交流会議 概要

会員 77団体

事務局 兵庫県企画部地域振興課

会費 無料

予算 700千円+繰越金

目的

**地域主導の地域づくり**を目指して活動する兵庫県内の地域づくり団体の取組を支援することで、**住民の自主的・主体的な地域づくりを推進**し、地域の活性化につなげる。

事業

- ・地域づくり団体相互の交流促進事業
- ・地域づくり団体向け情報発信事業
- ・人材育成事業
- ・地域活動支援及び都市農村交流に関する事業
- ・その他目的を達成するために必要な事業

### R6年度取組事業

#### 1 研修交流事業（費用助成）

- ①地域間交流の実践（4回開催）
- ②研修交流会の開催（R7.3.4開催）

#### 3 地域づくり団体向け情報発信事業

地域活性化センター広報誌の配布、地域活性化センター事業の活用促進など地域づくりに関する広報を実施

#### 2 人材育成事業（費用助成）

各種研修会等への派遣（13名派遣）

地域づくりコーディネーター研修会in東京	2名
地域づくりコーディネーター研修会in福島	2名
地域づくり団体全国研修交流会宮崎大会	9名

## 研修交流事業①

# テーマ：花とみどりのワークショップを通じた地域連携活動

主催：NPO法人パークコーディネート創生

開催日：令和6年11月10日（日）

場所：明石海峡公園内芝生広場

補助額：96千円

活動：淡路島国営明石海峡公園主催の花とみどりのワークショップにおいて各地域団体との協働を目的に講師を招き体験型のワークショップを開催し、地域団体、地元住民、イベント参加者の交流機会を提供



### ワークショップ実施内容

- ・花籠づくり
- ・アルミ缶風車づくり
- ・竹笛づくり
- ・吹きもどしづくり

### 参加の地域団体

ヘリテージマネージャー連絡会、  
日本公園施設業協会関西支部、  
竹林利活用協議会、  
夢舞台21、  
淡路島公園を楽しもう会、  
淡路島国営明石海峡公園クラブ（海峡フレンズ）



ワークショップ開催前日の会場設営から各団体が参加するなど、準備段階から交流を図ることで地域と団体が一体となり取組を推進

## 研修交流事業②

# テーマ：音楽ボランティア養成講座と地域交流音楽イベント

主催：芦屋Tioクラブ

開催日：令和6年11月14日（木）～令和7年1月31日（金）の間で実施

場所：ホスピタルメント芦屋、芦屋市民ステージ、ホスピタルメント甲東園  
レジデンス芦屋スイート、食満きらくえん

補助額：50千円

活動：

### 音楽ボランティア養成講座（全7回）

器楽演奏技能を磨く音楽ボランティア人材を養成し、趣味や生涯学習における仲間づくりにつなげ、地域文化の底上げを図る

### 子供たちと高齢者のおもちゃづくり交流会

子ども達と施設の高齢者が一緒にコマや万華鏡など昔のおもちゃを作り、一緒に遊ぶことで世代間交流の機会を提供する

### 元気セミナーと民族楽器でふるさと巡り音楽の旅

地域のお他団体との協働により高齢化社会を元気に生きる！をテーマに幅広い年代の交流を促進するイベントを開催した。

### 音楽イベント

二胡を用いた音楽イベントを開催し、あわせて市民から募集した芦屋の四季の写真をもとに製作した「ふるさと紀行 芦屋の四季」の記録映像を上映し、市民のふるさと意識を醸成



自然災害の被災地に一日も早い復興と世界中に平和が戻ることを願いながら フィナーレ！



食満きらくえん 音楽交流会  
懐かしい昭和の歌を歌いましょう♪

地域と人の交流をはかる地域づくりのボランティア活動の広がりにより、文化の継承、社会貢献、福祉活動等に対する地域住民の関心が高められた

## 研修交流事業③

# テーマ：農村部と都市部との連携と交流事業

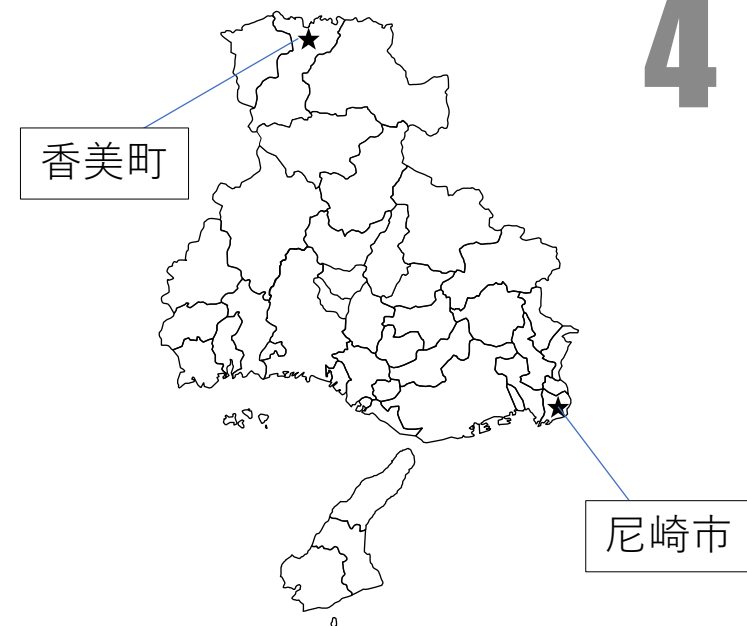
申請団体：但馬おじろ塾

開催日：令和7年2月11日（火）

場所：尼崎市丸橋公園

補助額：50千円

活動：



4

### 尼崎雪まつりの開催

農村部の香美町から30tの雪を都市部の尼崎市まで運び、雪を通して農村部と都市部に住む住民の交流を図る  
あわせて、香美町の特産品販売を行い、今後の関係人口・交流人口の獲得にもつなげる

### 美方高原自然の家での交流（R6は中止）

美方郡香美町にある尼崎市立美方高原自然の家にて、市、町の団体が中心となり住民同士の交流を図るイベントを開催

雪まつりの開催や、香美町の特産品の販売などを通じて、都市部の住民（尼崎）の農村部（香美町）に対する興味が芽生えており、今後はさらなる交流を促すため、都市部から農村部に行きたくくなるような企画を検討する



第31回 香美町から雪がやってくるぞへ  
ふるさと  
雪まつり

かに汁  
販売200杯！  
香美町の特産販売よ

丸橋公園

2025年 2月11日 祝日  
10:00～14:00

場所：尼崎市 丸橋公園（旧田中1丁目）

後援：香美町、尼崎市  
園田地域振興センター・園田地域  
各社会福祉連絡協議会  
（園田南、食通、御園、園田北）

主催団体：ふるさと雪まつり実行委員会  
阪神医療生活協同組合、園田南  
南清水保育園、尼崎信用金庫けちま支店  
NPO 法人愛通、NPO 法人やじろべい  
社会福祉法人さくらんぼ、リサイクルバンク  
園田西地区子ども会連絡協議会  
信馬おじろ塾

<プログラム>

10:00 開会  
10:20 未来大鼓謡場（和文鼓）  
11:15 園田中学校吹奏楽部  
12:00 双葉高等学校吹奏楽部  
14:00 閉会

## 研修交流事業④

### テーマ：つながりの輪を広げよう

主 催：一般社団法人INCREW

開催日：令和7年1月19日（土）

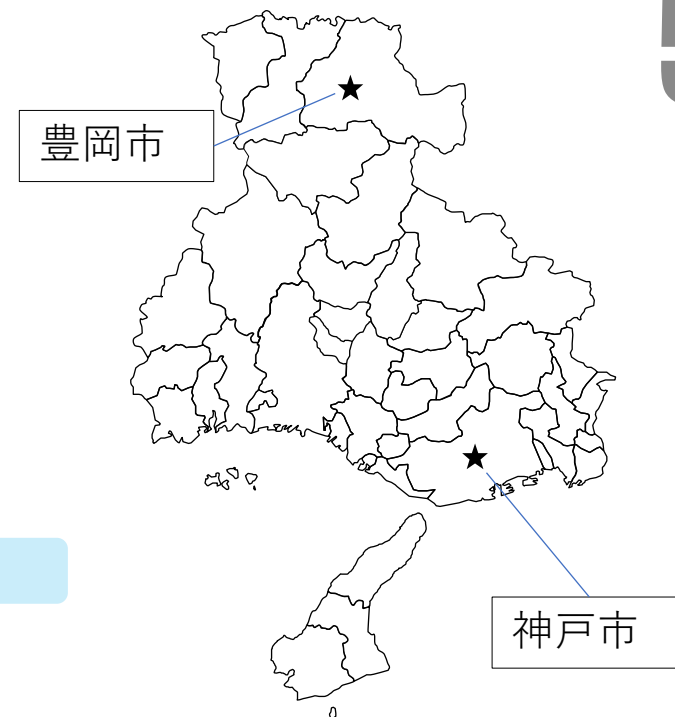
場 所：但馬ドーム

補助額：100千円

#### 雪遊び体験会の開催

神戸市及び豊岡市の住民が雪遊びを通じて交流を図り、その後、神戸市内で子ども食堂等の活動に取り組む「TOIRO」の取組について豊岡市で活動する「INCREW」メンバーに紹介。

「INCREW」からは地域おこし協力隊員として活動するメンバーがその取り組みについて活動を体験してもらいながら紹介。相互の取組について紹介することで都市部と農村部において課題の違いがあることや、協働により解決できる可能性があることなどを共有し、親交を深めていくきっかけとなった。



- ・取組をきっかけに都市部の事業者や子供たちが但馬地域に対して興味を抱くようになった。
- ・但馬で活動する団体が都市部において出前講座を行うなど新たな交流につながっている。
- ・地域間連携が増えたことで関係者が増え、今後新たな取り組みが期待されている

## 研修交流会の開催

地域づくり団体全国研修会の参加者から事例や学んだことを他団体へ共有することで、各団体が取り組む今後の地域づくりに活かす

**【開催日】 令和7年3月4日（火）**

**【研修交流会参加者】 13名**

**【発表】**

全国大会参加者のうち7名（5団体）  
が全国研修会での学び等について発表

**【参考：全国大会R6派遣実績】**

9名（6団体）

研修参加にかかる費用（旅費・参加費）  
について費用助成

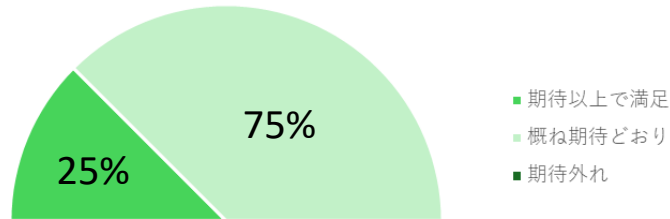
※次ページ以降参加者からの報告を紹介



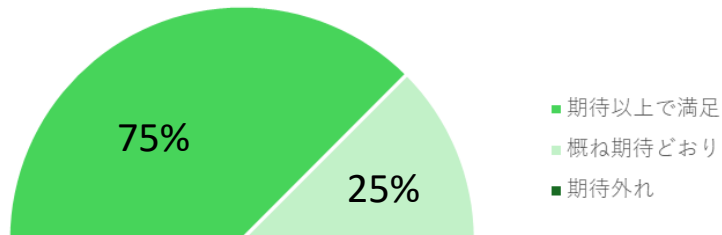
## 地域づくり団体全国研修交流会を踏まえて

### ■研修会に対する満足度

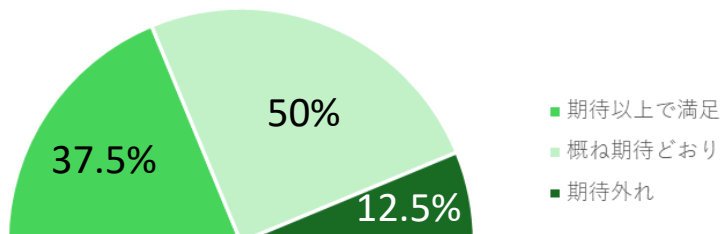
(全体会)



(分科会)

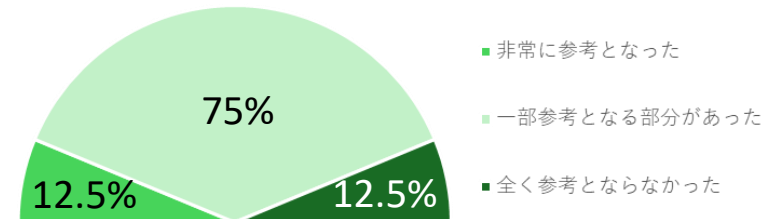


(体験メニュー)

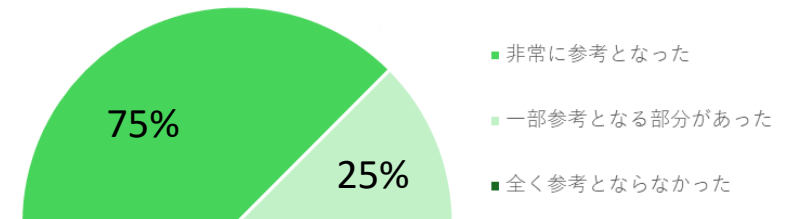


### ■地域づくりの参考とできたか

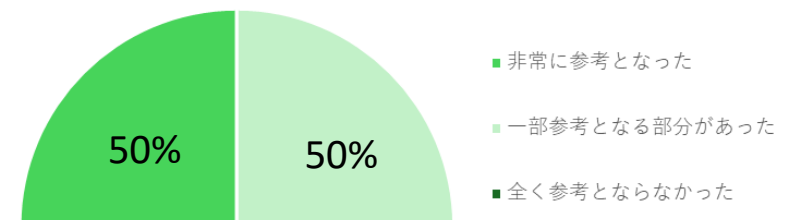
(全体会)



(分科会)



(体験メニュー)



## 地域づくり団体全国研修交流会を踏まえて

- ・ **全国の地域づくりに取り組む仲間が増えた**
- ・ 同じような団体の事例を直接聞いたことが非常に参考となった
- ・ 参加者同士の交流の機会が多かったことは良かった
- ・ 一つ一つの体験時間が少し短かった
- ・ 改めて **自分の地域の観光資源とは何か**を考えていきたい
- ・ 地域にあるものをいかに **生かし、活用し、発信**するか学ぶことができた
- ・ 商店街の再生を果たしたが、**新規入居事業者と地域住民の思い描くイメージに相違**があった。この **ギャップ**を埋めていくことが地域づくりを住民一体で **進めるのに必要**である
- ・ 移住者や協力隊員が行う地域づくりは **地元住民との協働企画**をいかにして行うかが課題
- ・ まちづくりの中間支援組織、テーマ型NPO法人、行政職員、大学生等 **多様なプレイヤー**が参加しており、「まちづくり」や「地域活動」について **広い観点**からとらえることができた

## その他事業及び今後の展開

### 【今後の取組に向けた課題】

- ・ 予算の確保
- ・ ふるさとづくり交流会議に関する周知
- ・ 地域間交流事業のためのマッチング
- ・ 地域づくりに関する取組の横展開



兵庫県地域振興施策との連携検討

※次ページ以降で兵庫県施策について説明

### ひょうごふるさとづくり交流会議

兵庫県内の地域づくり団体の交流会を開催したり、全国情報の発信を行っています。地域づくり活動を行う、兵庫県内の団体であれば、まちづくりのほか、環境、文化、福祉など、どんなことをテーマにしても登録できます。NPO法人、任意団体、ボランティアグループ等のグループの形態も問いません。登録頂けると下記の特典が受けられます。一緒に兵庫県の地域づくりを盛り上げませんか。(年会費は無料です。)

※地域づくり団体全国協議会にも同時に登録されます。(無料)  
なお、全国協議会助成事業は賛助会員の入会をしない場合は、受けられません。全国協議会助成事業は、平成30年4月以降、賛助会員(年会費3,000円)に入会された団体が対象となります。

#### ひょうごふるさとづくり交流会議の助成事業等

##### ●情報誌「地域づくり」の配布

(財)地域活性化センターが発行している情報誌「地域づくり」本編を毎月、各団体へ配布します。

##### ●地域づくり団体全国研修交流会(地域づくりコーディネーター研修会等)へ派遣(兵庫県事業)

旅費、受講料等を予算の範囲内で助成します。

##### ●地域間交流活動支援事業(兵庫県事業)

交流会議に登録している団体が行う地域間交流活動に対して、その費用の一部を助成します。

##### ●ひょうごふるさとづくり交流会議研修交流会の開催(兵庫県事業)

交流会議に登録している団体等が一堂に会し、研修交流会を開催します。(年1回)

全国協議会の賛助会員に入会すると、下記の助成が受けられます。(年会費3,000円必要)

##### ◆情報誌「地域づくり」の配布

(財)地域活性化センターが発行している情報誌「地域づくり」本編のほかに特集編と別冊(年3回)も配布します。

##### ◆地域づくり団体の研修会に招聘した講師への経費(全国協議会助成事業)

地域づくり団体が自主的・主体的に開催する研修会に招聘する講師への謝金・旅費の一部を助成します。  
※助成金の上限15万円 謝金及び旅費について各10万円を限度

##### ◆地域づくり団体の内部体制強化のために招聘したアドバイザーへの経費(全国協議会助成事業)

地域づくり団体が、活動レベルアップ、情報誌づくり、ホームページ作成などに関する指導や助言を受けるために招聘するアドバイザーの謝金・旅費の一部を助成します。  
※助成金の上限15万円 謝金及び旅費について各10万円を限度

##### ◆地域づくり団体クラウドファンディング活用支援(全国協議会助成事業)

クラウドファンディングを活用するために招聘するアドバイザーの謝金・旅費、広告費、返礼品作成費、支払手数料の一部を助成します。 ※助成額の上限25万円

#### <入会申込・問い合わせ>

ひょうごふるさとづくり交流会議事務局(企画部地域振興課内)  
〒650-8567  
神戸市中央区下山手通5-10-1

電話: 078-362-9008  
FAX: 078-362-3950  
メール: chikishinkou@pref.hyogo.lg.jp

# 【参考】



## サステナヴィレッジ

2023 (R5) ~ Sustainable Rich-Natural Community Development Project  
持続可能な多自然地域づくりプロジェクト



## プロジェクトの概要・方向性

- ・ H20～小規模集落対策「地域再生大作戦」の成果や課題を踏まえ、**R5～本プロジェクト**を始動
- ・ 都市部を含む**37市町**へ対象を拡大、**広域的に支え合う地域運営組織**を構築し、持続可能な生活圏の形成を目指す
- ・ 県は市町への**専門的支援と広域的支援**を担い、**県と市町の重層的な支援体制**のもとプロジェクトを推進

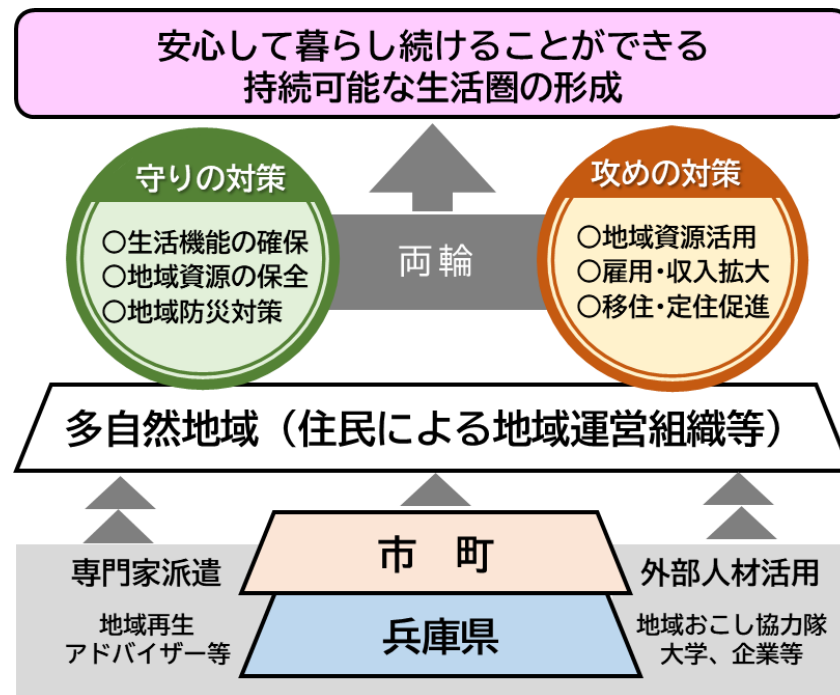
プロジェクト名	地域再生大作戦 (H20～R4)
対象地域	小規模集落 約900集落
対象市町	都市部を除く29市町 (対象外：神戸、阪神北、東播磨管内12市町)
支援対象単位	小規模集落の維持・活性化に向けた単発・部分的な地域
役割分担	県が主導
県	小規模集落に県が直接支援
市町	-

### 【問題・課題】

人口減少の更なる進展で  
地域づくりに限界

小規模集落が  
3倍に急増  
(都市部でも増加)

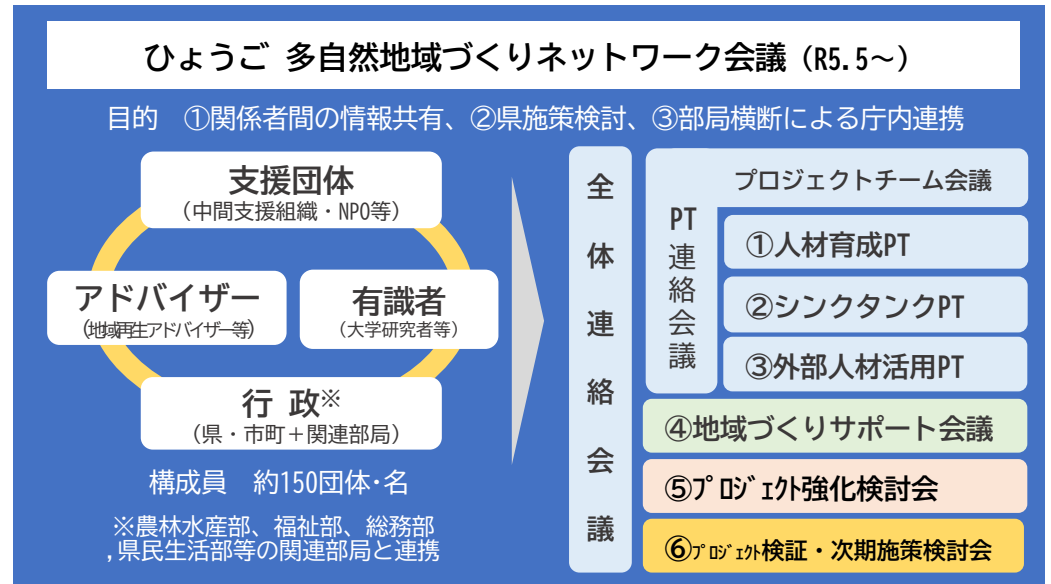
個々の集落での地域  
運営や担い手の枯渇



プロジェクト名	持続可能な多自然地域づくりプロジェクト (R5～)
対象地域	多自然地域の <b>全集落</b> 約 <b>3,000集落</b>
対象市町	<b>都市部を含む37市町</b> (対象外：尼崎市、芦屋市、伊丹市、播磨町の4市町)
支援対象単位	旧小学校区等の <b>広域的な地域運営組織</b> 等の面的な地域
役割分担	<b>県と市町の重層的支援体制</b>
県	市町に対する <b>広域的、専門的支援</b>
市町	<b>市町による地域への伴走支援</b>

## 県による広域的・専門的支援

- 効果的な県の支援策の検討、市町支援の実施  
(ひょうご多自然地域づくりネットワーク会議の運営)
  - 市町職員や地域再生アドバイザー向け研修の企画・実施
  - 地域づくり支援者向けツールの開発
  - 関係人口の創出・拡大に向けた仕組みづくり
- 市町からの相談対応するため、アドバイザー等の有識者を交えた市町サポート会議の開催
- 地域再生アドバイザー等の専門人材の地域派遣



### ①人材育成

[R5/R6実績]

- 市町職員階層別研修3~4回/年
- 地域再生アドバイザー研修5回/年
- アドバイザー制度の見直し検討

市町職員等の階層別研修



[R7予定]

- 行政向け職員階層別研修4回
- アドバイザー階層別研修5回
- アドバイザー制度の見直し案策定

### ②シンクタンク

市町職員等の支援者向け  
地域づくり支援ツールの開発

R5	<b>集落のワガゴト化ツール</b> ①集落基礎データ集 (客観的な現状把握) ②集落マップ (現状と10年後の比較による見える化)
R6	<b>支援者が見立てるツール</b> ①支援者が見立てるツール (支援者の目線合わせ) ②集落の見立てカルテ
R7	<b>集落のめざす姿実現に向けた集落支援ツール</b> (集落特性に応じた支援手法の提示)

### ③外部人材活用

[R5/R6実績]

- 関係人口拡大イベント事業効果検証
- マッチングイベント3回
- 関東圏×関西圏大学合同イベントによる企画提案の実施

地域ふれあい旅プログラム (in洲本市)



[R7予定]

- 関係人口拡大手法のあり方検討
- 民間サービスとの連携強化

### ④地域づくりサポート会議

市町×県×アドバイザー等による  
相談対応や検討の場

[R5/R6実績]

- 37市町と意見交換実施後、市町の個別課題をテーマにR5は9市町で、R6は7市町+財政支援など3テーマを全県対象に開催  
→課題解決に向け県支援事業の活用や、市町の地域づくり施策の方向性が定まる等の成果

[R7予定] 20回/年を目標

- 市町の要望に応じてテーマ別、県民局単位など複数市町、個別課題の解決に向け適宜開催

# 持続可能な多自然地域づくりプロジェクト (R5~R7) 県支援事業一覧

区分	事業名	事業内容〔対象経費〕	対象	上限事業費：千円 (補助上限額：千円)	県補助率	
市町支援	① 「持続可能な生活圏」 形成支援事業	持続可能な生活圏の形成に向けた市町の総合的・戦略的な取組の立ち上げを支援 〔地域活動(ソフト)及び整備(ハード)経費〕	37市町	3年間合計で 10,000(5,000)	事業費 補助 1/2	
	② 市町地域伴走支援 体制整備事業	地域おこし協力隊OB等の人材を活用した市町の地域伴走支援体制の立ち上げを支援 〔人件費・事務費、人材発掘経費等〕	17市町 (過疎市町等)	3年間合計で①+② ①人材設置費： (地域数×0.2-R4設置数)×4,387 ②人材発掘費：1,862	人件費 補助 1/2	
	③ マルチワーク 組合設立支援 事業	検討	組合の構想検討を支援〔ニーズ調査、仕事の組合せ検討、事業者説明会等〕	人口急減が進行している 17市町等	1,000(500)	1/2
		設立	組合の設立を支援〔計画策定、申請書作成、事務所開設費等〕		2,000(500)	1/4
独自事業		組合独自事業立ち上げ支援〔組合独自事業立ち上げ経費、広報ツール等〕	設立済み団体 ありの市町	1,000(250)	1/4	
県の広域的・専門的支援	④地域×大学×企業の ひょうご絆プロジェクト	地域課題解決に資する地域、大学、企業等の二者又は三者による連携活動を支援	37市町	地域×大学 2者連携 250×3年間 地域×大学×企業3者連携 375×3年間	県事業 10/10	
	⑤地域再生 アドバイザー派遣事業	地域の取組を促進するため、市町伴走支援と連携してピンポイント支援を実施		アドバイザー4万円/回 サポーター 2万円/回	県事業 10/10	
	⑥市町支援事業	ひょうご多自然地域づくりネットワーク会議の運営 ア) 人材育成 PT：市町職員研修、アドバイザー等の専門人材養成講座、アドバイザー制度見直し イ) シンクタンクPT：地域づくり支援ツール開発(集落のワガゴト化ツール、支援者が見立てるツール) ウ) 外部人材活用PT：関係人口案内所、大学・企業連携マッチングの企画 エ) 市町サポート会議：市町の相談対応、県事業活用支援、市町施策検討			県事業	
	⑦地域おこし協力隊 ネットワーク構築事業	・人的ネットワークの構築のためのシンポジウム、隊員募集等 ・協力隊スキルアップ研修等 ・相談対応(R7~拡充)			県事業	

# 関係人口創出に向けた兵庫県の取組

ひょうご関係人口案内所は、「街中」から「里山」への人の流れやつながりを創出し、持続可能な地域づくりを支援します

里山のこんな取組を支援します

- ① 地域課題の解決
- ② 移住・滞在・体験による活性化
- ③ 次世代の担い手創出

## ひょうご関係人口案内所

兵庫県企画部地域振興課(多自然地域づくり班)



### 街中

地域外や都市部の個人、学生、団体、企業の方など

多自然地域の  
情報発信 2  
活動希望者の募集

活動希望登録  
活動参加 3



### 相談対応・マッチング

関係人口受入の相談窓口  
人材のマッチング



### 情報発信・情報収集

地域活動の発信/参加者募集支援  
活動希望者(関係人口)  
登録リスト管理



### コーディネーター(仲介役)の派遣

活動参加者との連絡調整/  
企画サポート  
当日の受入れ調整 等



市・町

関係人口活用  
の相談 1

受入れ支援  
(コーディネーター  
派遣) 4



### 里山

多自然地域の  
地域協議会や  
自治会など



## 街中への効果

- ✓ 農業体験や自然とのふれあいによるリフレッシュ
- ✓ 第2の故郷・サードプレイスの確保
- ✓ 社会・地域貢献や自己成長
- ✓ 新たな仲間・交流・つながりの獲得
- ✓ 新たな学びやビジネスチャンス

## ひょうご関係人口案内所による 里山へのサポートステップ

STEP01

地域の魅力  
再発見  
課題整理

STEP02

地域での  
話し合い

STEP03

企画立案

STEP04

企画実施

STEP05

継続実施

← 情報発信 →

← 活動参加者募集 →

← 相談対応・コーディネーター派遣 →

## 里山への効果

- ✓ 農地保全、祭りなど担い手不足の解消
- ✓ 地域課題の解決や地域活性化・にぎわいづくり
- ✓ 街中の団体等との連携による地域づくり活動の開始・再生
- ✓ 外部の視点による地域の魅力を再認識
- ✓ 地域の魅力を地域内外にPR、情報発信

## ～めざす姿～

- ✓ 持続可能な地域づくり・生活圏の形成
- ✓ 集落の維持・再生

## 西播磨 ▶ はりま里山ホップづくり

## [ 佐用町江川地域 ]

街中

里山

アンバサダー



はりまグリーンラボ※  
ホップファーム



江川地域づくり協議会  
耕作放棄地の解消

※まちに緑を広げ、耕作放棄地を解消する社会貢献活動団体

江川地域づくり協議会では、「耕作放棄地」等の集落課題に対応するため、ビールの原料「ホップ」を育て、『はりまグリーンラボ』と交流体験しながら、耕作放棄地での「ホップ体験畑」に取り組むとともに、江川のロゴ入りビールのブランディングに挑戦しています。

## ■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2021年度	45	51	3日(6/5、7/24、8/22)
2022年度	46	69	4日(5/14、6/4、7/23、8/27)
2023年度	49	90	5日(5/21、6/3、7/23、8/26、10/28)
2024年度	53	84	5日(5/11、6/16、7/21、8/24、10/5)



①：ホップの管理作業 ②：ホップの収穫作業 ③：収穫したホップ ④：江川スターゲートイベントでのビール販売支援 ⑤：共同でホップファーム看板を作製

## 中播磨 地元産品ゆずの保全及び販売を見据えたPR

## [ 神河町根宇野地域 ]

街中

里山

ボランティア



ボランティア

ゆず収穫とPR、広報



根宇野区・根宇野柚子生産組合

ゆずの担い手の確保

根宇野区、根宇野柚子生産組合では、地域の高齢化と共に担い手不足が深刻化し、販売(卸)先の縮小と廉価で取引されていることが課題となっています。ボランティアによる作業支援や、販売を見据えたPRを行います。

## ■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2021年度	12	57	3日(10/9、11/7、11/14)
2022年度	10	38	3日(10/1、11/6、11/20)※11/13雨順延
2023年度	12	33	3日(11/5、11/12、2/18)
2024年度	13	53	3日(11/3、11/9、11/10)※3月にもう1日を予定



①：全体写真 ②：ゆずの収穫ボランティアの様子 ③：バスツアー企画チラシ ④：地元の高校生ボランティア ⑤：ゆず収穫作業の様子 ⑥：見守るゆずの実

## 淡路 NEW 竹原体験ツアー

千草竹原町内会の地域資源を活用し「外部との継続的な交流」を創出します。街中との継続的な交流が生まれる「NEW 竹原体験ツアー」（アグリツーリズム）をつくります。



## ■ナビゲーター招へいの様子

2021年度	オンライン交流会により、25名と交流会。その後、3団体が現地視察「石カフェ・六甲」「森のようちえんまんまる」「フントイ」
2022年度	フントイと6/4に里山ウェディングロケーションフォトを実施し、16名が参加。交流会に参加した4団体が現地視察。「シニア種まき隊」「森のようちえんまんまる」「まきんこの森」「楽鳥風月」
2023年度	兵庫県立大学大学院ほか2団体が現地視察「自由時間」「里山倶楽部」7/26現地視察を兼ねて「珈琲焙煎とベンガラ染めのなつやすみ」開催オープンチャット「淡路島千草竹原とゆかいな仲間たち」立ち上げALT(淡路島ロングトレイル構想)推進メンバーと地域資源を活用した商品開発に着手
2024年度	9/28兵庫県立大学大学院と植物観察会を実施「モミの木と原木しいたけと塩むすびピクニック」12/15洲本ガールスカウトリーダーと野外料理・クラフト体験を実施「焚き火とピザ窯ごはんとモミの木山クリスマス」



①：オンライン交流会 ②：里山ウェディング(photographer : @kenji\_ideta\_photography / produced by @eliza\_\_bridal × @phnomtoi)

③・④：体験ツアー(9/28) ※写真撮影：竹内正樹 ⑤：体験ツアーのチラシ ⑥・⑦：体験ツアー(12/15)

## 淡路 淡路島 竹灯笼物語

## [ 淡路島竹灯笼島内5地域 ]

街中

里山



ボランティア  
フォトグラファー  
材料・設営準備、広報支援

淡路竹灯笼島内5地域  
放置竹林の対応  
地域内外の交流再生

淡路島竹灯笼島内5地域<sup>\*</sup>では、放置竹林の課題に対して、来訪者(交流人口)の呼び込みを兼ねて過去に竹灯笼を開催してきました。コロナ禍を経て、令和5年度に再開し、関係人口の創出・拡大を図るため、地域内外の交流再生を目指します。地区全体の負担軽減を図るため、1年1地域開催としています。

※生田、長澤、摩耶、五斗長、柳沢

## ■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2023年度	60	84	7日(8/19、10/14、11/11、11/14、11/18、11/23、11/25)
2024年度	36	37	3日(10/19、11/9、11/10)



①: 竹灯笼設置作業(生田) ②: 竹灯笼の灯り(長澤) ③: 竹の伐採作業 ※写真撮影: 竹内正樹 ④: 竹灯笼と夜景(摩耶) ⑤: 竹灯笼の灯り(五斗長) ⑥: 竹灯笼の灯り(柳沢)

# 地域×大学×企業による「ひょうご絆プロジェクト」

## 事業目的

持続可能な生活圏の形成を目指し、地域の活動団体が企業や大学等と連携して取り組む地域づくり活動を支援

## 地域づくり活動に対する補助事業

市町の持続可能な生活圏形成の方向性を踏まえ、地域が大学、企業等と連携して行う地域づくり活動に要するソフト経費を対象とした補助事業を実施

[地域団体×大学2者連携] 25万円上限 / [地域団体×大学×企業等3者連携] 37.5万円上限 (最大3年間)



### 地域づくり活動のイノベーション

- ・地域課題の解決
- ・持続可能な生活圏形成
- ・地域資源の活用促進 など

- ※1 地域運営組織、複数または集落単位で組織する住民団体  
 ※2 企業・NPO法人・一般社団法人・農業協同組合等

## 事業内容

## 地域・大学・企業の交流を図る場の運営事業

他団体の取り組みを知る交流の場を提供することで、新たな関係の創出を図る

- 実施回数  
年1回開催 (R7 下半期予定)
- 対象  
関係人口創出・拡大事業関係地域団体、大学、企業  
自治体職員、その他関係人口創出に関心のある個人、団体
- 内容  
県取り組み紹介、基調講演、事例発表、ブース展示見学等



R6ひょうご関係人口  
フォーラム・交流会

R7.3.8 兵庫津ミュージアム


## 7市町（10申請）

□：申請主体

圏域	市町	地域	大学	企業	主な取り組み
東播磨	01 加古川市	■志方西地区町内連合会 (学生と協働した地域活動)	◇兵庫県立大学環境人間学部エコ・ヒューマン地域連携センター (学生の活動支援)	○(一社)ため池みらい研究所 (プロジェクト進行、学生の支援)	ウォーキングイベントの企画・実施 →地域の魅力発見・関係人口の増加
	02	■神野町町内会連合会 + 神野小学校PTA (学生と協働した地域活動)	◇兵庫大学ため池研究所	○(株)常然	水辺空間を学習空間にする取組の企画・実施 →小学生や大学生との連携による地域活性化
	03 稲美町	■草谷川環境保全協議会 (学生と協働した地域活動)	◇兵庫県立大学環境人間学部エコ・ヒューマン地域連携センター (学生の活動支援)	◎(一社)ため池みらい研究所 (プロジェクト進行、学生の支援) ○兵神機械工業(株) (池の水位監視のスマート化)	農村スマート化プロジェクトの企画・実施 →地域の農作業効率の向上
北播磨	04 西脇市	■芳田自治協議会 (イベント開催)	◇兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 ◇関西学院大学人間福祉学部 (SNS等を活用したPR活動・運営協力)	○(株)神戸マツダ西脇店 ○(株)KOBE PROJECT ○キタイ設計(株) (企業主催イベントの活用等)	子ども向けイベント、里山の自然・食・空き家を活用したWS等の企画・開催 →外部人材との協働による地域課題解決
但馬	05 香美町	■香美町小代協議会 (『日本で最も美しい村』認定の小代の地域資源の発掘への協力)	◇園田学園大学大江篤研究室 (地区の記憶の記録化、学生によるSNS発信等)	○Trees (観光振興のための動画撮影)	地域の記録作成・発信、体験コンテンツの企画 →歴史文化遺産の伝承・関係人口の増加
丹波	06 丹波市	■大路自治協議会 (地域活動、調査分析への協力・支援)	◇神戸大学小川研究室 (調査分析、成果取りまとめ)	○(一社)みつおおじ (地域活動、調査分析への協力・支援) ○農村活性化サークルひばり (地域活動(交流会の企画・運営)) ○(一社)フードコミュニティ (ブランド・製品開発、販路拡大)	「おおじみそ」を核とした地域・学生の交流活動やブランドづくり →大路地区の食・農・地域の活性化

# 地域×大学×企業による「ひょうご絆プロジェクト」

## 7市町（10申請）

 : 申請主体

圏域	市町	地域	大学	企業	主な取り組み
淡路	洲本市 7 新	■あわじ里山プロジェクト (里山整備、メンマ製造)	◇吉備国際大学 (竹林技術提供)	○(株)大同印刷所 (紙漉き、プロジェクト統括)	里山資源の利用促進による新価値創出 → <b>放置竹林のさらなる活用</b>
		■宇谷のみらいを創る会 (竹林の提供、伐採協力等)			
	南あわじ市 8 新	■竹原町内会 (自治活動の推進、諸活動の遂行)	◇兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 (地域資源の発掘、活用へのアドバイス)	○西淡まちづくり株式会社 ○株式会社 アクア淡路 (本構想に基づき具体的な事業(交流イベント等)を展開)	淡路島なるとオレンジ等を栽培する果樹園再整備と観光農園化 → <b>新たな資源創出及び地域の活性化</b>
		■伊加利地区自治会 (再整備のサポート)	◇吉備国際大学農学部 (農園マップづくり、農園の整備協力、地域資源の調査研究、農作物の栽培支援)		
南あわじ市 9	10	■伊加利源泉マルシェ実行委員会 (地域イベントの企画)	◇兵庫県立大学大学院 (アイデア提案、関係人口への活用)	○株式会社 アクア淡路 (本構想に基づき具体的な事業(交流イベント等)を展開)	「湊地区活性化構想」を意見集約や座談会を経て作成 → <b>地域・大学・企業連携による地域活性化</b>
		■湊地域づくり協議会 (座談会から構想策定へ)			

ご清聴ありがとうございました。

ひょうごふるさとづくり交流会議・持続可能な多自然地域づくりプロジェクト  
についての問い合わせは下記まで



兵庫県企画部地域振興課多自然地域づくり班  
Mail : [chiikishinkou@pref.hyogo.lg.jp](mailto:chiikishinkou@pref.hyogo.lg.jp)





兵庫県